

「7章 資料の分析と活用」 (1年：P206～)

1節 資料の分析

とある遊園地の2大人気アトラクション。どちらも連日長蛇の列だが、より人気があるのはどちらだろうか。下の2月1日～28日の各アトラクションの待ち時間を、いろいろな方法で比べてみよう！

1 度数の分布

◎ 2つの資料を表で比べよう

各アトラクションの待ち時間 (分)

月	日	曜日	シューティング	コースター
2	1	土	120	100
	2	日	110	80
	3	月	110	110
	4	火	100	130
	5	水	100	100
	6	木	130	160
	7	金	90	40
	8	土	110	110
	9	日	110	80
	10	月	170	170
	11	火	130	120
	12	水	130	150
	13	木	100	110
	14	金	110	150
	15	土	130	90
	16	日	110	80
	17	月	110	140
	18	火	110	160
	19	水	110	140
	20	木	150	170
	21	金	130	110
	22	土	130	100
	23	日	200	200
	24	月	130	170
	25	火	100	140
	26	水	100	160
	27	木	100	120
	28	金	90	80

○左の表の待ち時間を、『度数分布表』で整理しよう。

『度数分布表』とは、資料をいくつかの区間に区切って、その各区間に入る資料がいくつあるのかをまとめた表のことである。

下の表は、待ち時間を30分～210分の間で30分ごとに区切った度数分布表である。例えば階級が60～90の場合は、「待ち時間が60分以上90分未満の日数」を右側の度数の欄に書き込んでいく。左の表の待ち時間を見て、コースターの各階級の度数を下の表の太枠内に書き入れてみよう！また、2つの度数を見比べて、現段階でどちらが人気だと思うか、下の欄に書いてみよう！

資料を整理するために区切った区間

各階級に入っている資料の個数

<度数分布表>			
階級 (分)	階級値	度数 (日)	
(階級の幅：30分)	(階級の中央の値)	シューティング	コースター
以上 未満			
30 ～ 60	45	0	
60 ～ 90	75	0	
90 ～ 120	105	17	
120 ～ 150	135	8	
150 ～ 180	165	2	
180 ～ 210	195	1	
計		28	

階級値は度数分布表から平均を求めたりするときに使うよ！

○度数分布表から、より人気があると考えたのは (シューティング/コースター) である。

理由は…

度数分布表以外にも、グラフをかいたり、平均などの値を求めたり、資料を比べる方法はたくさんあります。様々な方法で比べてみて、最終的にどちらがより人気なのかを考えていきましょう！

このページの答えも含めた7章全体のプリントを、次回の登校日に配布します。